



# えり小だより

【学校教育目標】

〈知〉かしこい子 光  
〈徳〉うつくしい子 海  
〈体〉じょうぶな子 風

えりも小学校  
児童会が目指す姿

◇気持ちの良いあいさつ

◇何事にも真剣に取り組む

◇いじめゼロでみんな笑顔

◇学校のルールを守る

## 1人1台端末を活用した授業改善

校長 吉田 貴弘

現代は、テクノロジーの進化によってあらゆるものを取り巻く環境が複雑さを増し、将来の予測が困難な状況にあることから、「VUCA（ブーカ）時代」と呼ばれています。文部科学省から出されている各学校で教育課程を編成する際の基準を定める学習指導要領には、このような時代背景を踏まえ、「学校教育に、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくこと」が求められていると記載されています。

そこで、今年度えりも小学校では、学習活動における課題に対して自分から積極的に友達に相談したり先生に聞いたりすることで他者の考えを取り入れ、自分の学びを深めていくような「自ら学びを進めていくことができる児童の育成」を目指して、1人1台端末（クロムブック）を有効活用した授業改善に取り組んでいます。

具体的には、

- 導 入：今日の課題・授業の流れ・今日の学習で目指す姿（ゴール）を共有する
- 展 開：児童一人一人が学び方（1人で学ぶ、友達と学ぶ、先生と学ぶなど）を状況に応じて自分で選択し、自分で学習を進める
- まとめ：学習を振り返り、今日の学びや考えたことを自分の言葉で表現する

という形の授業実践を積み重ねているところです。

そして、全員で同じ情報をすぐに共有することができたり、自分の知りたいタイミングで友達の考えを知ることができたりと一人一人の学びをさらに充実させることができるツールであるクロムブックはすでに授業実践に必要不可欠なものとなっています。

9月27日（金）には、文部科学省学校DX戦略アドバイザーの水谷年孝先生と菅野光明先生、そして町内外の先生方が来校し、子供たちの学ぶ姿と今年度の授業改善の取組を参観いただきました。児童下校後には、菅野先生・水谷先生から参加者全員に向けてこれからの教育・授業についてご講話いただきました。参加された皆さんからアドバイス等もたくさんいただき、えりも小学校の授業改善のために大変有意義なものとなりました。

この経験を生かしながらこれからも「自ら学びを進めていくことができる児童の育成」を目指して職員一丸となって授業改善に努めていきたいと考えています。

## 「なわとび交流会」

去る9月17日(火)には、「なわとび交流会」の1回目を行いました。

4月から練習を重ねてきた成果を見せ合って、それぞれの状況を知り、刺激を受け合うことができました。

1年生はスタートして約半年ですが、なわに入れる人数がぐんと増えました。2～6年生も昨年度より多くの回数を跳べるようになり、今後の成長がさらに楽しみになりました。

ながなわを通して、体力づくりとともに学級づくりも一層力が入りそうです。

※「きょうまね!」は教務主任（三浦良美先生）の視点で学校の様子を伝えるコーナーです

## 正しいネットとの 付き合い方を



現在の生活は、インターネットやSNSなどとは切っても切り離せない状況にあります。学校でも、一人一台端末を導入以降、学習活動の充実のために有効に活用しています。

そういった環境の中で正しいネット社会のリテラシーを身に付けるべく、外部の専門家を迎えて3～6年生対象のネットモラル教室を実施しました。

児童は改めて個人情報管理の重要性やネットに隠れている危険性について学びました。



## 防災は 日々の備えから!

今年度の一泊二日防災地域学校では、実際に被災した場合に役に立つ体験を学習しました。1・2年生は「防災スリッパづくり」3・4年生は「ビニル袋で作る防災食作り」5・6年生は「段ボールベットなどを組み立て避難所設営体験」を行いました。

実際に役立つ機会には遭いたくはありませんが、知識として知ること、いざというときに動ける心構えこそが防災対策として大切です。ご家庭でもぜひ、年に1回は防災について話し合ってみては?